

「障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画」策定に係る アンケート調査へのご協力について

平素より、本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
鈴鹿市では、令和6年度に、「第4期鈴鹿市障害者計画・第7期鈴鹿市障害福祉計画・
第3期鈴鹿市障害児福祉計画」の策定を予定しております。

計画策定にあたり、障がいのある方の福祉サービスの利用状況や福祉に関する意識、
意向などを把握するため、市内にお住まいの方から無作為に抽出した1,500名の方にア
ンケートを実施することになりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の
回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、ご回答いただいた内容は、
統計的に処理し、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用します。そ
の他の目的で使われることはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年〇月 鈴鹿市

■アンケートの回答方法は2つあります。以下のどちらかで回答してください。

- 1 この調査票を記入し、同封されている返信用封筒で障がい福祉課へ提出してください。
- 2 下のQRコードを読み取り、web回答用のページから回答してください。

回答は〇月〇日までをお願いします。

web回答の場合は、この調査票を提出する必要はありません。

※アンケート調査票を音声化したものを用意することができます。

必要な方は障がい福祉課までご連絡ください。

■調査票の記入について

- ・このアンケート調査は、あて名のご本人がお答えください。
(ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きのうえ、
または、ご意向を汲み取ったうえ、代理でご記入をお願いいたします。)
- ・各質問ごとに、あてはまると思う番号に○をつけてください。
- ・答えが「その他」にあてはまる場合には、() の中にできるだけ具体的に記入
ください。
- ・ご記入いただいたアンケート調査票は、無記名のうえ、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに〇月〇〇日 (〇) までに投函してください。

【web回答用QRコード】→

【web回答用番号】

〇〇〇〇



【問い合わせ先】

鈴鹿市 健康福祉部 障がい福祉課

TEL : 059-382-7626 FAX : 059-382-7607

MAIL : shogaifukushi@city.suzuka.lg.jp

^{がいこくじん} ^{ひと}
■外国人の人へ

これは、^{すずかし} ^{あた} ^{けいかく} ^{つく}
鈴鹿市が新しい計画を作るためのアンケートです。

^{にほんご} ^{ひと} ^{にほんご} ^{ひと} ^{こた}
日本語がわからない人は、日本語がわかる人と一緒に教えてください。

^{しつもん} ^{しやくしょ} ^き
なにか質問があれば、市役所に聞いてください。

■ Aos cidadãos estrangeiros

Pedimos sua cooperação com o Questionário de Novo Plano de Suzuka.
Se você sabe japonês, por favor preencher o formulário. Caso tiver alguma
dúvida, pergunte à sua prefeitura.

■ A los señores ciudadanos extranjeros

Les estamos pidiendo su colaboración con el cuestionario de un Nuevo Plan
de Suzuka.

Si sabe japonés, por favor coopere tanto como sea posible.

Si tiene alguna pregunta, entre en contacto con la municipalidad de Suzuka.

■ To foreign citizens

We would like to ask your cooperation with the Suzuka City New Plan.

Please answer with someone who understands Japanese. If you have any
questions, please ask to Suzuka City.

^と ^あ ^{さき}
【問い合わせ先】

^{すずかし} ^{けんこうふくしぶ} ^{しょう} ^{ふくしか}
鈴鹿市 健康福祉部 障がい福祉課

TEL : 059-382-7626 FAX : 059-382-7607

MAIL : shogaifukushi@city.suzuka.lg.jp

1 基本的なことについて

問1 あなたの年齢はおいくつですか。(令和4年9月1日現在)(数字を記入)

満()才

問2 あなたの現在のお仕事は何ですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 学生・専門学校生 | 6. 働いていない |
| 7. その他() | | |

問3 あなたの家族構成は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他() | |

2 障がいのある方との関わりについて

問4 あなたの家族に障がいのある方はいますか。(1つに○)

1. いる ⇒ あなたとの続柄() 2. いない

問5 あなたはこれまでに障がいのある方と一緒に暮らしたり遊んだり学んだり仕事をした経験がありますか。(1つに○)

1. ある → 次ページの問6へ 2. ない → 次ページの問7へ

<問5で「1. ある」と答えた方にお尋ねします。>

問6 それはどのような経験ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一緒に生活したことがある(している)
2. 個人的に親しい付き合いをしたことがある(している)
3. 学校や塾などで一緒に学んだことがある(している)
4. 職場で一緒に仕事をしたことがある(している)
5. 一緒に遊んだり、スポーツをしたことがある(している)
6. サークルや団体で一緒に活動したことがある(している)
7. その他()

問7 あなたは障がい福祉に対して関心がありますか。(1つに○)

1. とても関心がある
 2. ある程度関心がある
 3. どちらでもない
 4. あまり関心がない
 5. 全く関心がない
- 次ページの問9へ

<問7で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお尋ねします。>

問8 それはどのような経験からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の身内や近所、知り合いに障がいのある方がいるから
2. 障がいのある方へのボランティア活動を行っているから
3. 自分自身が福祉に関する職業についているから
4. テレビ等で障がいのある方に関することを見たり聞いたりするから
5. 広報「すずか」で障がいのある方に関することを見たりするから
6. 障がい福祉の制度に興味があるから
7. その他()

問9 街の中や身近なところで障がいのある方が困っているとき（一時的な状況）に話しかけたり手を貸したりしたことがありますか。（1つに○）

1. ある

2. ない → 問11へ

＜問9で「1. ある」と答えた方にお尋ねします。＞

問10 あなたが実際に話しかけたり手を貸したりしたことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 身体的介助（着替え・食事など） | 2. 家事援助（洗濯・調理など） |
| 3. 買い物や諸手続きの代行 | 4. 外出時の援助（送迎を含む） |
| 5. 急病など緊急時の手助け | 6. 介助者が不在時の手助け |
| 7. 手話・筆談・要約筆記 | 8. 朗読・代読 |
| 9. 話し相手 | 10. 行事やイベントの手伝い・介助 |
| 11. 車いすを押した | 12. 荷物を運んだ |
| 13. その他（ | ） |

＜問9で「2. ない」と答えた方にお尋ねします。＞

問11 話しかけたり手を貸したりしたことがない理由はどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. そのような機会がなかった
2. どうしてよいのかわからなかった
3. おせっかいになるのでやめた
4. 専門の人や付き添いの人にまかせた方がよいと思った
5. 自分のことで精一杯だった
6. 関わりたくないと思った
7. その他（

問12 今後障がいのある方に関わるボランティア活動（近所のボランティア、市のボランティア問わず）に参加したいと思いますか。（1つに○）

1. 現在、参加している → 次ページの問15へ

2. 参加したい

3. 知り合いと一緒になら、参加したい

4. 参加したいとは思わない → 問14へ

5. 絶対に参加しない

6. わからない → 次ページの問15へ

＜問12で「2. 参加したい」「3. 知り合いと一緒になら、参加したい」と答えた方にお尋ねします。＞

問13 どのようなボランティア活動に参加したいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 話し相手

2. 家事の手伝い

3. 外出時の付き添い

4. 本や情報誌の点訳や朗読

5. 外出時の送り迎え

6. 学習、趣味活動の相手や介助

7. 災害時の援助

8. スポーツ活動の相手や介助

9. 車いすなどの修理

10. 家や庭の手入れ

11. その他（

）

＜問12で「4. 参加したいとは思わない」「5. 絶対に参加しない」と答えた方にお尋ねします。＞

問14 ボランティア活動に参加したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 時間がない

2. 健康や体力に自信がない

3. めんどくだし、負担に感じる

4. 関心がない

5. その他（

）

3 しょうがいのある方への理解について

問15 あなたは地域社会の中で障がいのある方に対する理解が進んできたと思いますか。(1つに○)

1. かなり^{すす}進んできた
2. どちらかといえば^{すす}進んできた
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば^{すす}進んでいない
5. ^{すす}進んでいない

問16 あなたは地域社会の中で障がいがあることを理由に差別があると思いますか。
(1つに○)

1. ある 2. ない → 問18へ

<問16で「1. ある」と答えた方にお尋ねします。>

問17 それはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や収入 しごと しゅうにゅう 2. 学校 がっこう 3. 人間関係 にんげんかんけい
4. 冠婚葬祭 かんこんそうさい 5. スポーツや趣味の活動 しゅみ かつどう 6. 地区の行事・集まり ちく きょうじ あつ
7. 外出中 8. 店などの対応・態度 みせ たいおう たいど 9. 交通機関の利用 こうつうきかん りよう
10. その他 (た)

問18 あなたは、^{しょうがいしゃさべつかいしょうほう}障害者差別解消法^しを知っていますか。(1つに○)^{まる}

1. 法律の内容も含めて知っている
2. 法律の名前は知っているが、詳しい内容は知らない
3. 障害者差別解消法について知らない

とい 問19 あなたは、「合理的配慮」(※)について知っていますか。(1つに○)

1. 合理的配慮の考え方について知っている
2. 合理的配慮という言葉は知っているが、詳しい内容は知らない
3. 合理的配慮について知らない

※合理的配慮とは・・・障害者権利条約では、障がいのある人がない人と同じように生活するために過度な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。平成28年4月より施行された障害者差別解消法でも、合理的配慮がされなければならないことが規定され、合理的配慮を行わないことは差別として位置づけられています。

4 障がいに関する情報について

とい 問20 障がいに関する情報はどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 1. 新聞・雑誌・本 | 2. テレビ・ラジオ | 3. インターネット |
| 4. 市や県の広報誌 | 5. 市役所 | 6. 学校や職場 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 家族・友人・知人 | 9. 病院・診療所 |
| 10. 公民館の公開講座 | 11. 社会福祉協議会 | 12. ボランティア |
| 13. 特にない | 14. その他() | |

とい 問21 鈴鹿市は広報「すずか」やホームページなどで障がいに関する情報を発信していると思いますか。(1つに○)

1. 積極的に発信している
2. どちらかといえば発信している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば発信していない
5. 消極的であり、発信していない

5 障がいのある方を取り巻く環境について

問22 災害時や緊急時において障がいのある方に対する必要な取り組みは何ですか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 地域、近所での日頃からの協力体制づくり
2. 災害時の情報伝達方法の確立
3. 災害時の生活支援体制の確立
4. 避難誘導體制の確立
5. 緊急通報システムの普及
6. 訓練実施など住民の意識啓発
7. ボランティアの受け入れ体制の整備
8. その他 ()

問23 障がいのある方が働くために必要な条件はどれですか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 自宅の近くに働く場があること
2. 障がいの状態にあわせた働き方ができること
3. 障がいのある方に適した仕事が開発されること
4. 企業側が障がい者雇用について十分理解し、障がいのある方を採用しようとする事
5. 就労をあっせんしたり、相談できる場が整っていること
6. 訓練など、技能・知識の習得を援助する施設が充実していること
7. 自営業を希望する方への支援を充実させること
8. その他 ()

問24 障がいのある方にとって住みよいまちづくりに必要な施策は何だと思えますか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 障害基礎年金などの手当の充実を進めること
2. 障がいの特性を理解し、可能性を伸ばす教育を進めること
3. 就労対策を進めること
4. 障がいのある方とない方の交流を進め、理解を深めること
5. 在宅での生活がしやすいよう、医療・福祉サービスを充実させること
6. 差別や偏見をなくすために福祉教育、広報活動を進めること
7. ボランティア活動を充実させること
8. 道路、建物などに段差をなくし利用しやすくすること
9. 障がいのある方が利用できる施設を充実させること
10. その他（ ）

問25 その他、障がいのある方に関する施策などについて、市へのご意見やご要望など
がありましたら、ご自由に記入してください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、○月○日(○)までに、投函してください。